

---

○アガルシダーゼベータ BS 点滴静注, ▼ファブラザイム点滴静注用 [注]

---

【重要度】 【一般製剤名】 アガルシダーゼベータ (U) Agalsidase Beta (Genetical Recombination) 【分類】 ファブリー病治療薬 [β-ガラクトシダーゼ酵素製剤]

【単位】 ▼5mg・○35mg/V

【常用量】 隔週 1mg/kgBW

【用法】 初回投与時の速度は 0.25mg/min [15mg/hr] 以下で、忍容性確認後、徐々に速めてもよく、最大 0.5mg/min [30mg/hr] で点滴静注  
必要に応じブレメディ実施

【透析患者への投与方法】 常用量 (1)

【保存期腎不全患者への投与方法】 常用量 (1)

【特徴】 ファブリー病の酵素補充療法に使用。主に内皮細胞及び実質細胞中に蓄積する糖脂質（特に GL-3 ; globotriasylceramide）のリソソーム内加水分解酵素 α-ガラクトシダーゼ A の遺伝子組換え製剤。

【主な副作用・毒性】 悪寒、発熱、倦怠感、呼吸困難、鼻炎、高血圧、infusion associated reaction、頻脈、末梢性浮腫、過敏症など多数

【F】

【tmax】

【CL】 3.0±0.9mL/min/kg (1)

【t1/2】 45～102min で用量依存的 (U) 96.7±24.7min (1)

【蛋白結合率】

【Vd】 肝に分布 (1)

【MW】 約 100,000

【透析性】 分子量が大きく、透析されないと思われる (5)

【相互作用】 検討されていない (U)

【備考】 ウシ血清由来製品は販売中止 (1)

【更新日】 20230614

---

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。